

表紙作品：「紅映」  
イラストレーター：Ken Matsuda  
1990年生まれ、鳥取県米子市出身。島根大学教育学部幼児教育学科卒業。  
ペンと水彩を使って動物と植物の共生をメインテーマに制作を行う。  
美術経験が無いなか、感性と経験を頼りに、どうしたらより絵が生命力を発するかを課題とし、  
作品制作に努める。  
市役所を辞職し、2019年4月より拠点を関東に移し、本格的に制作活動を行う。

TOYOINKGROUP

東洋インキグループ 統合レポート  
2023  
Integrated Report 2023

TOYOINKGROUP  
<https://schd.toyoinkgroup.com>





## 東洋インキグループの理念

経営哲学

人間尊重の経営

経営理念

私たち東洋インキグループは、  
世界にひろがる生活文化創造企業を目指します。

- 世界の人びとの豊かさと文化に貢献します。
- 新しい時代の生活の価値を創造します。
- 先端の技術と品質を提供します。

行動指針

- お客様の信頼と満足を高める知恵を提供しよう。  
CS (Customer Satisfaction : お客様満足度)
- 多様な個の夢の実現を尊重しよう。  
ES (Employee Satisfaction : 社員満足度)
- 地球や社会と共生し、よき市民として活動しよう。  
SS (Society Satisfaction : 社会満足度)
- 株主権を尊重し、株主価値の向上に努め市場の評価を高めよう。  
ShS (Shareholder Satisfaction : 株主満足度)

1993年4月制定 2014年4月改定

## 統合レポート2023の発行にあたって

当社の統合レポートは、当社グループの全体像と価値創造ストーリー、すなわち当社グループがいかなる社会課題を認識し、それらの解決に向けていかに考え、取り組んでいるかをご理解いただくために、当社グループの経営戦略、事業、コーポレート・ガバナンス、環境や社会への取り組みなどを統合的に説明しています。

今般の「統合レポート2023」では、当社グループが重要課題として特定している「人権」「人材育成」に焦点を当てて説明しています。これらは、当社グループの経営哲学「人間尊重の経営」の実践であり、かつ当社グループが掲げる「企業と社会の持続的成長」の基底に位置するテーマです。また、現中期経営計画「SIC-II」およびサステナビリティビジョン「TSV2050/2030」をベースとしたグループの価値創造ストーリーを充実させるべく、人材育成やダイバーシティ&インクルージョンを中核施策とする人的資本の強化や、当社グループが120年以上をかけて蓄積してきた技術力という強みから社会課題の解決に至る流れなどを重点的に説明しています。

当社の統合レポートは、当社グループの中長期的な企業価値向上のために、財務・非財務情報を積極的に情報開示し、株主・投資家の皆様やサプライチェーンを共にするお客様・お取引先様などステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを高めていくツールとすべく編集しています。また、その編集過程や記載内容については、当社グループの業務執行に関する意思決定機関であるグループ経営会議が監督しています。ぜひご一読いただき、統合レポートならびに当社グループの経営に対するコミュニケーションの契機としていただければ幸いです。今後もご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



2023年6月

代表取締役社長 グループCEO

高島 悟

## CONTENTS

- 1 東洋インキグループの理念
- 2 統合レポート2023の発行にあたって
- 3 東洋インキグループのあゆみ
- 5 東洋インキグループの姿
- 7 トップメッセージ

### 東洋インキグループの価値創造

- 13 2050年を見据えた  
東洋インキグループの価値創造
- 15 価値創造モデル
- 17 価値創造の源泉となる資本

- 25 価値創造の基盤となる強み
- 29 中期経営計画「SIC-II」の進捗
- 37 サステナビリティマネジメント
- 41 気候変動への取り組み  
～ TCFD提言に基づく情報開示
- 45 持続的成長を支える  
人権マネジメント

### 東洋インキグループの事業

- 47 ■ 色材・機能材関連事業
- 49 ■ ポリマー・塗加工関連事業
- 51 ■ パッケージ関連事業
- 53 ■ 印刷・情報関連事業

### ガバナンス

- 55 コーポレート・ガバナンス座談会
- 59 マネジメント一覧
- 61 コーポレート・ガバナンス
- 68 リスクマネジメント
- 70 コンプライアンス

### コーポレートデータ

- 71 データハイライト
- 73 財務情報
- 86 株式情報
- 87 グループ会社情報
- 88 社外からの評価

#### 〈報告対象期間〉

2022年1月1日～2022年12月31日(2022年度)

※一部の情報については、2021年以前や2023年以降の内容を含んでいます。

#### 〈報告対象範囲〉

本報告書の情報は、東洋インキグループ(東洋インキSCホールディングス株式会社、連結子会社および持分法適用関係会社)を報告範囲としています。報告範囲が異なる情報については、対象とする報告範囲を注記しています。

#### 〈参考ガイドライン〉

- ・価値報告財団(VRF)「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創ガイドライン」
- ・GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- ・TCFD「気候関連財務情報開示タスクフォースの提言」



#### 〈発行年月〉

日本語版 : 2023年6月 (次回発行予定: 2024年6月)

英語版 : 2023年8月 (次回発行予定: 2024年8月)

簡体中文版 : 2023年8月 (次回発行予定: 2024年8月)

#### 〈お問い合わせ先〉

東洋インキSCホールディングス株式会社 グループ広報室

〒104-8377 東京都中央区京橋2丁目2-1

E-MAIL : info@toyoinkgroup.com(総合窓口)

ウェブサイト : https://sacd.toyoinkgroup.com

#### 将来見直しに関する注意事項

本レポートに記載されている意見や見直しは、レポート作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

このため将来の業績は当社の見直しとは異なる可能性があります。